



令和6年1月31日発行

法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます



社会福祉法人 甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター

〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2番9号 TEL:0798(47)4477 FAX:0798(43)1022

HP: <https://www.sunago.or.jp> E-mail: mail@sunago.or.jp

2階病棟

福持 祐子

あけましておめでとうございます。皆様はどのようなお正月を過ごされましたか？

2階病棟は年末のバタバタムードが一変し、のんびり、ゆったりとした時間を過ごしました。元旦の食事は、朝食はカニおじや、昼食はおせち風、おやつは紅白ゼリーととても豪華で、利用者の皆様はそれぞれのご馳走を楽しまれていました。そして、今年も地域交流スペースに建てられた「すなご神社」に参拝し、迫力のある境内に利用者の皆様は圧倒されている様子で、じっくりと境内を見ておられました。一年の抱負や願い事をした後は、おみくじも引き、どんな結果でも良い内容だったので盛り上がりました！

また、病棟でもお正月を感じられるよう、辰の顔出しパネルを用意して写真撮影を行いました。フェルトで出来た顔出しパネルなので手触りが柔らかく、優しい手触りにうっとりされる方も…。今年初めての写真は、しっかり笑顔の方もいれば、なかなか渋い表情の方、まだまだ寝足りない夢の中の方、様々なワンショットを頂きました！

昨年からは感染対策の制限も少し緩和され、活動の範囲が広がりつつあります。今年も少しずつでも利用者の皆様と楽しく心が温くなるような出来事でいっぱいになるよう、そして素敵な写真が沢山撮れる様にしたいと思います。



新年のご挨拶にかえて

新年あけましておめでとうございます。

令和6年元旦に発生しました能登半島地震で被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

昨年5月にコロナウイルス感染症が5類対応となり、3年ぶりに色々な活動が再開され、世間にも明るさが戻ってきました。当センターも、利用者さまが、少しずつでもコロナ前の生活に戻れるよう、緩急自在な感染対策に努めています。世間ではインバウンドも順調に回復し、各地の観光地は大勢の人たちで賑わっています。一方で、オーバーツーリズムなど新しい課題も出てきています。

昨年は、こども家庭庁が発足し、各省庁で分断されていたこども施策を一元化するとされています。残念ながら国の対応は遅きに失した感が否めません。こどもは国の宝、国の将来はこどもらが担っていく～出生率が大幅に落ち込み、少子高齢化が進んでから慌てても、時遅し、です。私は小児科医ですが、小児科医院は減少する一方ですし、総合病院でも小児科のないところが少なくありません。こども家庭庁の活躍に期待したいところです。

当センターは、成人、子供の区別なく事業を行っています。一昨年、医療的ケア児支援法が施行され、当センターでは、医療ケアの必要なこどもへの様々な事業を始めています。訪問看護やデイサービスでの受け入れ、学校看護師の派遣、コーディネーターの育成などがあります。

これからも時代のニーズに応じた事業活動を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年正月



院長 田中 勝治



新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症も、昨年5月に5類に移行し、2類感染症としての厳しい規制も緩和されました。春以降、日常生活を取り戻す月日であったかと思いますが、さりとて、完全に戻せるわけでもなく、面会の一部制限が継続されるなど、保護者の皆様には、忸怩たる思いがあったかと存じます。入所されている家族への強い心中を察すると申し訳ない気分です。

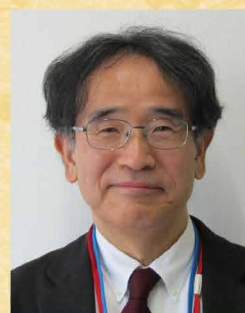
現場では、昨年と同様、医師、看護師を始めとする医療スタッフ、生活支援員を先頭に、昼夜を分かたず、懸命な対策を図って参りました。利用者様の笑顔を糧に、誠心誠意の努力を重ねております。各位に対しても、深く感謝致します。

さて、当センターの経営環境ですが、何よりも、看護師をはじめとする人材の確保に支障が生じています。人材紹介会社、ネット上の就職情報サイトの活用、職員からの人材紹介制度の充実、奨学金制度の創設など、多角的な手段を用いて求人活動を行っています。また、新卒看護師の確保に向けて、新卒者向けサイトへの登録、就職説明会への参加なども積極的に行っています。

いずれにせよ、人材不足は、病棟でのサービス提供の維持をはじめ、在宅支援の充実や医療的ケア児の支援強化など、センター運営の足かせになっています。

また、新年度は、医療と福祉の報酬制度が同時改定されます。働きやすく、やりがいのある職場環境を堅持しながら、質の高い医療と看護、支援を持続していく、好循環を維持できるかどうか、重要な新年となりそうです。

皆さまにとって、実り大きい2024年であることを祈念しています。



事務長 北村 悦伸



3階病棟

小西 香子

1 グループの利用者4名で院内活動を行いました。今回の内容は「パラバルーン」です。
「パラバルーン活動始めます！」

ですが集まった場所は6階フリールームで、目の前には机も置かれており、利用者の皆さんの顔には「？」マークが……。まずはパラバルーンを制作する時間です。カラフルなビニール袋に様々なイラストを描き、それらを貼り付けて1枚の大きなパラバルーンを制作します。絵を描く事を楽しんだり、カラフルなビニール袋をじっくり眺めたり、ビニール袋を触ってカサカサという音を楽しんだりと思いつきに組み込まれていました。

そして昼食はガストでデリバリーしたオムライスです！いつもの給食も美味しいけれど、デリバリーの特別感は最高です☆ 皆さん幸せそうに食べていました。

午後は中庭で、お待ちかねの制作したパラバルーンを使った活動です。カラフルなビニール袋パラバルーンが膨らむ度に見上げて楽しまれており、青空の中で気持ちの良い活動になりました。



4階病棟

宮根 一男

12月に利用者2名でバースデー活動を行いました。バースデー活動は誕生日を祝うことを目的に個別の活動が2時間保障されています。「バースデー活動を始めます」と声を掛けた後、まずはおやつ時間です。いつもと違って活動日はご自身が好きなものを食べることができるので、お一人には某ファストフードのフライドポテト、もう一人にはちょっとお高いプリンを用意し、二人ともおいしそうに食べられていました。

今回の活動は、動画鑑賞が好きなお二人ということなので、プロジェクターを使って大きな画面で懐かしの昭和のアニメ「ど根性ガエル」「ルパン三世」「マジンガーZ」を鑑賞しました。オープニング曲が始まると前のめりになり、途中から手を振り回しながら興奮されている方、職員にもたれかかってリラックスして観ている方など、思い思いに活動を楽しまれていました。

また来年も一緒に誕生日を祝えるよう、バースデー活動の内容を考えていこうと思っています。楽しみにしてくださいね。



西病棟

關 啓子

「文化の秋」

西病棟では利用者の皆様全員で一つの作品を作り、かんでんコラボ・アートに応募しました。タイトルは「29色のパレット」です。パレットに模した段ボールに、西4階病棟の利用者はペンで描き、西3階病棟の利用者は色染めした和紙を貼って、さらに色付けをしました。短い期間での制作でしたが、全員が参加することができました。残念ながら今年度は1次予選を突破できませんでしたが、次回に向けて利用者の皆様がそれぞれの良さをより発揮できるよう尽力していきます。

他にも音楽会を行いました。リハーサルと本番の計2回行い、利用者の皆様には太鼓やツリーチャイム、鈴、ウクレレなどの楽器の中から好きなものや得意なものを選んで演奏していただきました。曲目は「山の音楽家」です。動物が演奏する場面、それぞれお持ちの楽器を鳴らします。リハーサルでも同じ曲を使っていることもあり、出番が来ると張り切って鳴らしてくださいました。久しぶりに大勢で演奏をしたこともあり、合いの手や歌声がたくさん聴こえるにぎやかな音楽会になりました。感染予防のため、大勢で集まる機会は限られていますが、また開催できたらと考えています。

また、個別での活動になりますが読書の秋も運動(ゲーム)の秋もあり、色々な秋を満喫されていました。



発達障害支援室

ねっこ

清水 奈都美



児童発達支援ねっこでは、今年もクリスマス会を行いました。

まず最初は楽器作りです。マラカスや太鼓、ギターなどそれぞれ好きな物を決めてから材料を選びます。空き箱やガチャガチャのカプセルなどにシールを貼ったり絵を描いたりして飾り付けをし、完成すると、どんな音がするのか鳴らして確認していました。

その後、どこからサンタさんが登場して来るのか考えながら待ちました。窓から来るのではないかと覗きに行ったり、「サンタさんはえんとつからくる」と教えてくれたりもしました。「サンタさん」と呼ぶと扉から出てきたサンタさんに、嬉しくてハイタッチをしに行ったり、驚いて固まったりと子どもたちの反応はそれぞれでした。プレゼントを受け取ると恥ずかしそうにしながらも「ありがとう」とお礼を言うことができました。写真撮影をしたあとは、当日作った楽器を使ってサンタさんと一緒に♪あわてんぼうのサンタクロースを演奏しました。サンタさんは忙しいのであつという間にお別れの時間となりましたが、最初に緊張していた子どもも最後にはタッチをしてお別れすることができ、楽しいひと時を過ごせました。「サンタさん来年も来てくださいね！」



すなごイルミネーション2023



生活支援課 宮野 紀子

利用者の皆様に、寒い冬でも楽しんでいただける企画として、2023年クリスマスに向け、施設の様々な場所でイルミネーションの飾りつけを行いました。

メイン会場は、5階のテラスです。サンタや星、首をかしげるトナカイ、Sunagoの文字を型取った手作りのネオンボードなど、色とりどりのライトでテラスが飾られました。施設の玄関前と各病棟のエレベーターホールも、かわいいモチーフがついたライトや、スタンドグラスのようなお城で飾られました。

今回のイルミネーションは、保護者の方からいただいた寄付金にて購入させていただきました。ありがとうございました。

利用者の皆様だけでなく、面会に来られた保護者の方や、職員も一緒に楽しむことが出来ました。



サルビアの会

2階病棟 尾崎 真理奈

令和5年11月22日、西宮すなご医療福祉センターでは長寿のお祝い「サルビア会」が開催されました。

今年度は還暦を迎えられる利用者が5名、古希を迎えられる方が3名いらっしゃいました。ご家族のご列席、並びに役職や各病棟職員も参加し、多くの方と共に敬意や感謝、また長寿の祝福の気持ちを込めてお祝いしました。

会では、田中院長、宮野課長からお祝いの言葉をいただき、それぞれ、ジュース・シャンメリー・ノンアルコールビールなどから飲み物を選んでいただき全員で乾杯をしました。

乾杯の後は、さらに会を盛り上げるため、催し物としてゲストのマジックショーが行われました。はじめは声を出して盛り上がる会場でしたが、徐々に息をのみ、拍手さえも忘れてしまうほど魅了されている姿が印象的でした。また、各病棟職員からささやかながらお祝いの品を進呈させていただきました。

終了後は、装飾が施されたパネルの前でご家族や職員と共に写真撮影を行い、笑顔を増やす利用者の方も多く、サルビア会が記憶に残るかけがえのない思い出になれば嬉しいです。



障害児等療育支援事業「福祉のネイルケア」

相談支援課 中島 裕美子

——— きれいに彩られた爪と皆さんの笑顔を、映えスポットで♪ ———

10/28(土)、地域にお住まいの方々を対象に、障害児等療育支援事業「福祉のネイルケア」イベントを開催しました。

5月にコロナウイルス感染症が第5類に変わり、コロナ禍以降で初めて開催したイベントです。感染対策には十分に気をつけながら、日本保健福祉ネイリスト協会の皆様のご協力のもと、8名の方に参加していただきました。

ネイルが初めての方もおられ、目を輝かせながらご自分で好きな色や柄を選び、次第にきれいな色に彩られていく爪を見ながら、皆さんの表情が華やいでいくのがとても印象的でした。40分という短い施術時間でしたが、ネイリストの皆さんとの会話も弾み、皆さんいきいきとした表情で、私たち職員もとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

お帰り際には、参加者の方々から「またこのようなイベントがあればぜひ声を掛けてください」と嬉しいお言葉をいただきました。今後も、地域の皆さんに楽しんでいただけるイベントをどんどん企画していきたいと思っていますので、皆さんぜひまたご参加くださいね。



プレゼンテーション研修

研修室 田原 賀代

12月26日に院内研修会で、プレゼンテーション研修を開催しました。研修の目的は、「自分の思いや考えを伝えることができる」です。自分でテーマを決め、そこからプレゼンテーションに必要な情報の収集や内容を考えてパワーポイントで作成します。まずはこの過程を経験するという事でテーマはフリーにしているため、発表から職員の知られざる趣味や人柄をたくさん知る事ができます。今回はその中から、2名の発表内容をご紹介します。

——— 家政室 東野 雅 ———

院内プレゼンテーション研修で園芸について発表させていただきました。

2020年10月～庭園や花壇が作られてから、有志による作業を経て、今年からは私が週1回3時間の業務として家政室と園芸の両立で携わっています。プレゼンテーションでは、庭園が出来上がっていく過程から、花が一番きれいに咲き誇っているところ、そして現在の様子や私のお気に入りの場所などの写真を見ていただきながら説明をいたしました。芝刈りや植栽の剪定をしてくれる設備室の方、モニュメントを綺麗に保つために毎日拭いてくれている方や掃除をしてくれる方、そして施設内の花壇を維持するために手入れをされていて、日々たくさんの方が関わっていることを、プレゼンテーション研修を通して広く知っていただき伝えることが出来たとありがたく思っています。

素晴らしい場所という【まほろほ】となるよう、たくさんの方に居心地の良い、癒される場所になるようにと願いを込めて、これからも手入れを続けていけたらと締めくくりました。それからこの後は寒い冬を乗り越えてからの春の花壇で、季節の移ろいを楽しんでいただければ嬉しいです。



——— 相談支援課 種橋 礼子 ———

今回、発表者に抜擢されプレゼンテーションすることになりました。オーディエンスが想定より多く驚きました。プレゼンテーションは、自分の主張や思いを目に見える形で相手に訴えかけ、興味を引いたり理解してもらったりする場です。資料の見やすさ、関心を向けてもらう工夫、進行スピード……。様々なことを考えながら話す必要があり、緊張も相まってたくさんエネルギーを使った気がします。

さて、本題ですが、私の趣味はスノーボードです。発表では、スノーボードをあまり知らない方にも興味を持っていただきたく、写真を多めに入れたいり、種目を図式化して説明したり、実際に滑走中の映像を流したりと視覚的にわかりやすい資料作りを心掛けました。ご興味のある方はお見せしますのでぜひともお声がけください。

スノーボードはエクストリームスポーツの一種です。滑走・技の華麗さや危険度が高ければ高いほど、スピードが速ければ速いほど評価されることから、上達には怪我がつきものです。それも骨折などいきなり重傷であることが多いです。社会人になってからは仕事に支障のないよう安全第一のつもりですが、もし冬場に私が脚を引きずっていたりしたら「スノーボーでやらかしたんだな」と察してください。というのは冗談で、十分気を付けつつ、これからも趣味の範囲でゆるゆる楽しもうと思います！



令和5年度 法人職員合同実践研究発表会

研修室 田原 賀代

第23回法人職員合同実践研究発表会が、特別養護老人ホーム甲寿園あいあいホールで開催されました。保育・高齢・障害などの分野から10題のエントリーがあり、会場は100名余りの参加者で終始活気にあふれていました。

参加者の方々からは、各施設・事業所の実践研究や取り組みについての発表を真剣に聞き入っている様子が伺え、そこから得た新たな気付きや学びを今後の支援に活かしていきたいという感想をたくさんいただきました。その中から今年度は、西宮すなご医療福祉センターの「中途障害の利用者における意思表示の検討—家族と職員の思い—」が最優秀賞を、にしのみや苑の「A様の元の生活をめざして～兵庫県4DAS機能維持・向上プログラムの下で～」と北山学園の「『今より大きな自分になりたい』思いに寄り添って」の2題が優秀賞に選ばれ表彰されました。

特別講演は、落語家の三遊亭 楽春氏をお迎えし、「笑いに学ぶコミュニケーション&メンタルヘルス」をテーマにお話をいただきました。落語家の方ならではの間合いや話の展開にどんどん引き込まれていき、笑いあり、学びあり、落語ありの楽しい90分間でした。



最優秀賞をいただきました

～西病棟～

【中途障害の利用者における意思表示の検討
—家族と職員の思い—】



～3階病棟～

【利用者の生活が豊かになる活動に向けて
～BREEZEカフェを通して～】



●令和5年度 社会福祉法人甲山福祉センター永年勤続表彰

2023年11月19日(日)

場所：特別養護老人ホーム甲寿園

(10年) 清水奈都美、小久保英和、宮迫 大樹

(20年) 向嶋 愛

(30年) 山崎 和弘、佐伯 良徳



永年勤続表彰を受けて

このたびは永年勤続表彰をいただきありがとうございます。30年間仕事を続けることができたのは、ご利用者様とご家族様、いっしょに働いてきた仲間、先輩、後輩の皆様のおかげであることを心の底から感謝いたします。30年間の中でも働いて2年目に起こった阪神淡路大震災は忘れることができません。住んでいたアパートは全壊し避難所の安井小学校からしばらく通勤しました。担当していたデイは数か月中止となりました。自衛隊車両が走るたいへんな中、あるご利用者は見守り訪問で私たちスタッフの似顔絵を描いて見せてくださり、とても温かい気持ちになりました。避難していた当時の安井小学校校舎は建て替えになりなくなってしまいました。まさに光陰矢の如しです。

30年間働いて見えてきたものは、働き続けられることの幸せです。

これからも皆様に支えていただきながら、まだまだ「あゆむ」でいきます。



相談支援課
山崎 和弘

〓善意、令和5年11月～令和6年1月

寄付金 (順不同 敬称略)

- 11月 一般財団法人 高友福祉積善会
- 12月 国際ソロプチミスト西宮
公益財団法人 鳴尾会
夙川東教会 さくら会

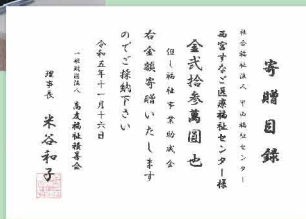


寄贈品(日用品・食品他) (順不同 敬称略)

- 12月 藤沢 豊子
株式会社 7th seed

一般財団法人 高友福祉積善会様より寄贈

高友福祉積善会様からの助成金で購入させていただいたポータブルテレビは、各病棟にて日中活動や体調がすぐれない方に処置室でテレビを見ていただけるように使用しております。無線のアンテナがついているので、利用者様の体の向きや姿勢に合わせてテレビを置くことが出来ます。また、録画機能もあるので、好きな番組を録画しておき、起きている時間に見ただけますので余暇時間の充実につながります。ありがとうございました。



編集後記

令和6年1月1日に能登半島地震、1月2日に羽田空港衝突事故と、痛ましい出来事が起こりました。平時の準備と心がけが災害の被害を小さくし、事故の発生を防止できることを肝に銘じて、新しい年を迎えたいと思います。



結城 秀昭

職員の異動 令和5年11月～令和6年1月

入 職

- 12月1日付 槍 水 優 李 (看護師)
- 12月12日付 種 村 実 紗 (看護師)
- 1月1日付 西 尾 ゆかり (看護師)
- 菊 井 麻 由 (看護師)



退 職

- 12月22日付 西 菌 麻 (看護師)
- 12月31日付 輪 野 泰 士 (事務員)
- 小久保 英 和 (保育士)
- 栗 原 諭 (介護福祉士)
- 角 田 徳 子 (看護師)
- 奥 田 愛 (看護師)
- 1月4日付 種 村 実 紗 (看護師)
- 1月31日付 岡 野 真 実 (看護師)
- 平 井 桜 子 (看護師)
- 笠 松 香 耶 (看護師)

利用者様の作品紹介

3階病棟 若松 奈生子

3階病棟の制作活動の様子をご紹介します。



まず一つ目は、新年に向けて辰の絵を利用者の皆さんと一緒に描きました。描く前に干支の本を読んで辰ってどんな風だろうか。自分の干支や職員の干支は何だろう?などを話して、イメージを膨らませてから取り組みました。皆さん意欲的に腕を動かし、大胆に色付けをしてくれたので、迫力のある辰が完成しました。二つ目は、普段から絵を描くことが好きで、作品展にも出品される方との制作活動です。この日はお世話になっている方へ送る年賀状を作りました。どんな風にかこうか話し合い、送る相手を想像しながら色も選び、可愛い年賀状を完成させました。今年も様々な活動を皆さんに楽しんで頂けるよう、企画していきたいです。